

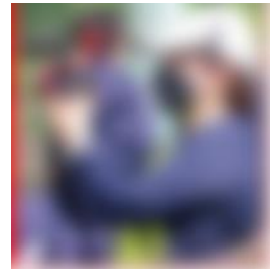
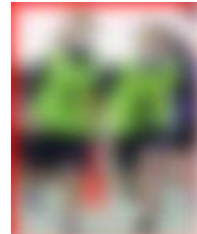
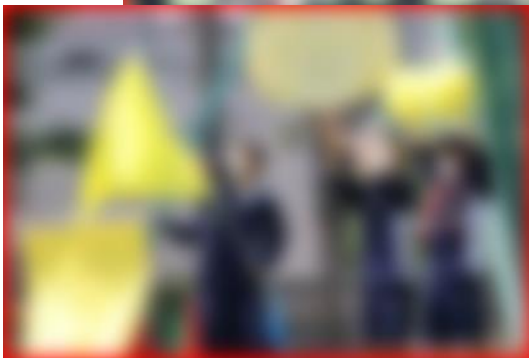


最初で最後の最高の運動会

第34回
運動会



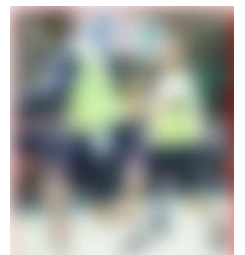
「全然ダメ」この言葉から運動会の練習が始まりました。ラジオ体操の練習ではこの言葉がよく先生の口からとびまわっていました。南二のラジオ体操はそろっていてきれいと思校長先生が言っていて親にも生で見せてあげたいなと思ったのが本音ですが親が見ていなくても「今までで一番きれいだった」と先生に言ってもらえるようにおどってやると思っていたのも本音です。本番では一人一人が心を合わせてメリハリを大事にすることによって全体が一つになったような気がしました。」(S.R)



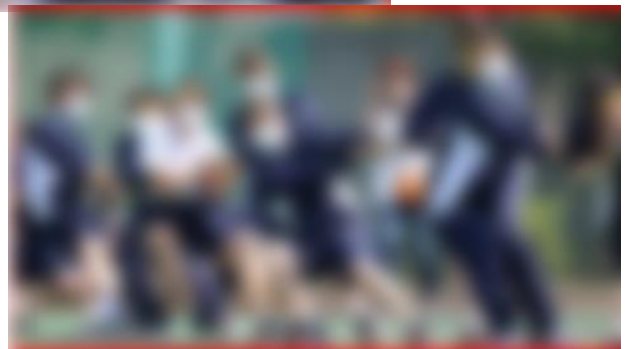
「一番時間をかけて作ったのがタムが考えたうちわです。絶対成功させるためにまず、図を書き、材料を決めました。最初は針金で作ろうとしましたが上手くいかずダンボールで作ることにしました。うちわが折れないようにダンボールを縦にしたり、二枚重ねにしたりして骨組みを作りました。そして仕上げに面の部分をどうするか話し合いました。ここでしょうきが寄せ書きというすばらしい意見を出してくれたので、その寄せ書きを3-1の形にして、表面は黄組と書くことにしました。寄せ書きはクラス全員に協力をしてもらいました。しかし、表面の黄組が物足りない感じがしたので、また、クラスに協力してもらって全員に手形を付けてもらいました。これらのおかげでクラスの団結力は上がったと思います。」(H.K)

「最初はみんなまとまらないで指示が通らなかつたり、マイペースな人が多かつたりで困っていました。だけどそれは最初だけで練習にみんながはげんでいくうちにだんだん団結してきました。実行委員としてとてもうれしいことでした。」(I.K)

三年目に最高の運動会
を作り上げたみんなが
大好きです。(I.C)



「全員リレーではとにかく必死に走った。きっと大した戦力にはなっていなかったのだろう。ただ、私は自分が出せる限りの力で走って、バトンをつないだ。それだけで十分じゃないか。このとき私は、賭けに失敗したところで、別にかまわわないと思えた。クラス全員と仲良くなれる日が絶対にいつかやってくると確信したからだ。」(S.M)



三つ目の『モルック』に関しては言うことはこれしかない。「そうじゅん最強」(T.A)

「私は運動会が苦手なので、毎年運動会の準備が始まると他人に迷惑をかけないようにと、不安になっていましたが、今年はそれがありませんでした。なぜなら実行委員の人たちが全力でバトンパスを指導してくれたり私にバトンを渡す人も工夫してくれてとてもやりやすかったからです。六人七脚の練習も、最初はペースが合わず転びかけて、うまくいきませんでした。時間が経つにつれて上手くなり、ペースがあわない人もカバーできるようになり、初めてクラスでタイムをはかった時はだんごの一位で本番でも一位でした。」(K.I)

**最後の「おつかれさん!!」という応援
みたいなものでは声がかれるまで
出しました。(S.S)**

「今回の運動会で学んだことは最後まで諦めずに戦い続けることは大切だということだ。「どうせ〇〇組が勝つんだ…」そう決めこんで戦う前から戦うことを放棄してたら後に悔しい思いだけが残ってしまう。「最後まで戦っていてよかった。」今回の運動会を通して、心からそう思った。」(T.S)

「「とったどー」といいたかったです、なんか周りの空気とちがったので、いえませんでした、クラスで飯田先生がいてくれたので良かったです。みんなで勝ちとった優勝、一生忘れません。」(O.S)

【運動会実行委員】
〇〇〇〇さん・〇〇〇〇さん
〇〇〇〇さん・〇〇〇〇さん
【健康委員(救護)】
〇〇〇〇さん・〇〇〇〇さん
【放送委員(放送)】
〇〇〇〇さん



最後の運動会、トロフィーがすごくきれいで、勝ててよかったなど、あらためて思いました。(M.Y)

「クラスが優勝することができたのは、誰かが失敗しても責めることをしないで次へ活かそうと思う気持ちと目の前の競技一つ一つに本気で取り組むことができたからだと思います。これは私達のクラスだけに限らずに他のクラスにもありました。その中で優勝することができたのは私にとって一生の思い出になりました。この気持ちを忘れないで、これからもたくさん色々なことを思い出と経験に変えていきたいと思っています。」(O.N)

**このメンバーで団結して卒業するその日まで
頑張っていきます。(Y.Y)**



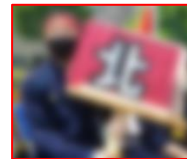
学年だより



荒川区立
南千住第二中学校
第三学年
令和4年6月6日



「青春をありがとう」



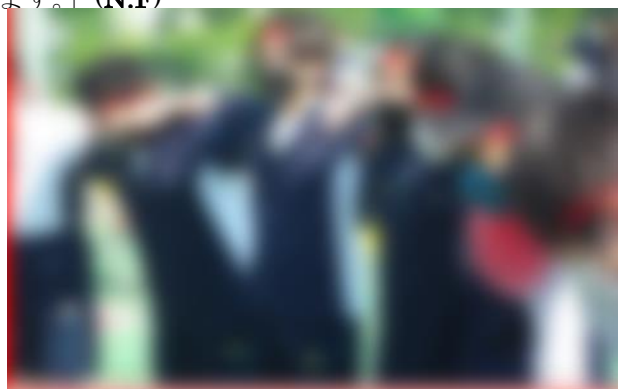
「運動会当日もすごく楽しかったけど、真剣に取り組んだ練習やみんなで作った応援グッズの時間やみんなの気持ちを正直に話し合った時間など運動会までの思い出があってこそ最高の運動会だと思いました。今年の運動会は一年生と一緒にできなくて残念でしたが心の底からやれてよかったと思えた運動会でした。」(K.M)

私を感じたのは、まさにこの「団結と、環境が変わる感覚です。」(C.M)



「一回戦目は私たち赤組が勝ちついに決勝戦がやってきました。勝負が始まる前、皆小声で頑張るぞ！なるべく体重後ろにかけまろう！とものすごく前向きな声をかけてくれたおかげで百パーセントの力を出す予定だったのに本番で百二十パーセントの力を出すことになりました。予想ですがそのときの私の顔はなまはげより迫力があつたと思います。」(N.F)

「私たちは第一走というプレッシャーに押しつぶされそうになっていましたが、一走の仲間と円陣を組み、自分たちを鼓舞しました。スタートの合図が鳴り、私たちは走り出しました。いつもより大きな声を出して、打ち合わせどおりに。そして一度もころぶことなく二走へとつなげることができました。さらしをほどいて待機場所に座ると、感情が高ぶって泣きそうになりました。隣に座っていた高橋さんに、「私泣きそう。」といったら、「私も。」と返されました。この時私は達成感が胸いっぱい広がりました。」(T.M)



最も重要なことは、「みんなで勝つ」と思う心にあると思った。「勝つ」だけでは別にそのクラスでなくもよくなってしまふ。ただ「みんなで勝つ」となるとそのクラスのみんなで勝つという事に意味がでてくる。そしてこれは、運動会をやる意味にもつながってくると思う。学校で運動会をやるのは、競い合う心あとはクラスで協力できる力を育てるためにあるんだと思う。(W.Y)

「そして閉会式での得点発表では三位となり優勝することはできませんでした。しかし私はまったく悔しくなかったのです。なぜなら、皆がとても楽しく笑顔で運動会をしていたからです。もちろん優勝したかったけれども私は最後の運動会で分かったことがあります。それは何かというと絆は戻ってくるということです。私は皆に最後までとても謝りたい気持ちと感謝の気持ちを伝えたいです。皆に迷惑かけてすみませんでした。迷惑をかけたのにも関わらず実行委員についてきてありがとうございました、と言いたいです。そしてこの体験を生かしてこれからの最後の中学校生活を過ごしていきたいと思います。そして私は今回の最後の運動会を色々な人にクラスメイトの絆のことなどをじまんしたいです。ずーっとこのクラスメイトと一緒に居たいです。最後に言いたいことがあります。先生方、クラスメイトの友達、迷惑かけてすみませんでした。そして期待してくれてありがとうございました。そしてクラスメイト、担任の先生に一言、このメンバーでこのクラスで最後の中学校生活、約一年間同じで良かったです。ありがとう。そしてこれからもよろしく。」(T.Y)

クラスで団結し、全力で盛りあがる最後にふさわしい運動会ができたと思います。(S.R)

「最後に、中学生生活最後の運動会を終えて思ったことは、全員が一団となって一生懸命やれば、勝っても負けてもとても良い思い出になるということです。勝って嬉しいのは当たり前だけど、負けて本気で悔しがれるのは全力でやった人だけだと思うので、負けて本気で悔しがっている人が多くて、みんな全力で練習から本番までやっていたんだと思って嬉しくなりました。そして、みんな協力してやることができ、少なくとも私は一生の思い出にすることができました。」(N.C)

3年間いろんな団旗を見てきましたがその中でもダントツ好きです。センスが良すぎる。(F.M)

【運動会実行委員】

〇〇〇〇さん・〇〇〇〇さん
〇〇〇〇さん・〇〇〇〇さん

【健康委員(救護)】

〇〇〇〇さん・〇〇〇〇さん

【放送委員(放送)】

〇〇〇〇さん



今回の運動会で私は、「楽しむ」ことが一番大切だと思いました。(M.M)

「自分はこの運動会で初めて実行委員というのをやらせてもらった。この仕事で改めて人前に立つ難しさや人に話を聞いてもらう難しさを知った。時には実行委員である自分に嫌気がさしてきたりもした。それでも何とかふんばってどうやったら皆に話を聞いてもらえるだろうと色々考えた。その結果皆が自分の指示を聞いてくれるようになった。最終的にも運動会成功できたので良かった。この実行委員での経験を修学旅行や行事、学校生活にも生かせるようにしたい。」(S.H)

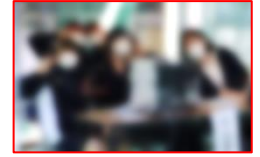
「私は今回の運動会をふり返って皆が楽しめる最高の運動会にできたと思う。運動会で見た皆のたくさんの笑顔は、私もつられて笑顔になってしまうくらい最高の笑顔だった。もう運動会が出来ないのはとても悲しく思うが、皆で組んだ円陣や全力で応援した姿、一生懸命練習した姿は今でも思い出に残っているしこれからもずっと思い出に残ると思う。なのでこれからの残り少ない中学校生活でたくさんの思い出を作っていきたいし、楽しいと思えることをもっと増やして残りの時間充実した中学校生活を送りたい。」(O.H)

今回の運動会でクラスについて考え直すことができたし、「とても楽しかった」という気持ちで終わることができたので最後の運動会に悔いはないです。(M.H)





最後の最高の運動会



「私たち三年生は南二中生活最後の運動会となりました。そして三組は十点というごく僅かな差で2位となってしまいました。その中でくやしいという気持ちや悲しいという気持ちがありました。しかし、このような気持ちが生まれるのは、運動会に必死で取り組んだということだと思います。私はあまり運動が得意ではありませんが、この学年で、このクラスみんなで運動会ができて本当によかったです。最高の思い出になりました。」(S.M)

「中でも最も一番は全員リレーの入場前、三組全員で円陣を組んだ時です。実行委員の声かけのもと、クラス全員が一丸となったあの瞬間はこの先ずっと忘れません。」(N.M)

**ダラダラせずに速うと
ころでは上になるぞと
いう気持ちで生活して
いくことが大切だと思
いました。(U.K)**

「一つ目は、南二中こうれいのラジオ体操です。ラジオ体操を合わせることは、ほんとうに難しいです。しかし、私達はもう三年生。一年生のお手本にならないと、一生けん命に練習をしました。もちろん、本番は、とってもきれいでそろったラジオ体操ができました。そろっている時には、南二中全校生徒と心が通じ合った気がし、とてもうれしかったです。」(T.M)

「勝負事というのは、案外簡単な所で勝ち負けがついたりする。運動会も同じく、勝った負けたでは推し量れない達成感というものに真の価値があると思う。無論、勝つこともまた一つの大切な指標だが、そこに価値をふくませるのは達成感である。つまり私は団旗にたずさわった時点で勝ってしまったのだ。当日休んだことも、しょうがない。私は準備の段階でおもしろくなれるのだから、運動会は、勝たなくても勝てる戦いなのだ。」(S.N)

「一番初めにも書きましたがこの運動会は忙しかったです。そこそこしんどかったです。しかし、その忙しかったのと引きかえに僕達は成長と友情という大きな物を手に入れたと思っています。みんなをまとめたりするリーダーシップのとり方、自分一人で動こうとする勇氣、みんなの代表となりラジオ体操をするという大役、これら全てが僕の成長へとつながっています。そして負けてしまったことを共有すること、運動会が終わってみんなにお疲れ様と言い合う姿これもまた全て友情へと変わっています。僕たちにとってこの学校で行える最後の運動会、最幸(←わざとです)のものを手に入れたと思っています。付け足しになっていますがLOVERSも心に残ったことの一つです。」(A.T)



「私にとって最後の運動会だったけど、最後までやりきることができたし、なによりみんなと一緒に応えんやリレーなどができたことがとてもうれしかったです。また、みんなと色々なことをやりたいなあと思いました。」(A.U)



「あともう一つ、運動会を通して学んだことがあります。それは、団結、協力する力がいかに人と人をつなげる力があるかについてです。団結や協力なんかは、言葉でいうのは簡単なことですが、実際にやるのは難しいと僕は思います。団結や協力は簡単に言うと、みんなで力を合わせて、みんなで一つの目標に向けて、一つにあることです。みんなで力を合わせて、一つになることは、すぐにはできないと思っていました。ですが、みんなの気持ちが同じなら、すぐにできると知りました。クラスや学年、学校で団結した結果すごくいい運動会になりました。」(K.R)



【運動会実行委員】

〇〇〇〇さん
〇〇〇〇さん
〇〇〇〇さん
〇〇〇〇さん

【健康委員(救護)】

〇〇〇〇さん
〇〇〇〇さん

【放送委員(放送)】

〇〇〇〇さん

「そしてこれが本題です。そう、感動の名シーンであり、ハイライトは…青組最後の一周です。我らがアンカーは、黄組と接戦で、追いつくために全力を出して走っていましたが、皆一位を争う二人の選手に釘付けになって自分たちの勝利を願いました。ラスト、ストレートにさしかかるところでなんと、青が黄の前に出ていったのです。私はこれが現実か目を疑い、本物のアニメみたいだと思いました。最後の最後で一位をさらっていくなんで、なんて格好良いんだろうと思いました。先生は他のことを真面目にやらず、勝ったところだけを喜び、浮かれてはいけないと指摘しましたが、私たちはもし他のことができていなくても、感動で舞い上がっていたことでしょう。だって、それは仕方のないことです。映画の名シーンを作ってしまい、そこに自ら魅了されてしまったのですから！(H.M)」

「一、二年の時は、コロナがなければもっと楽しめたのかなとか、もっと競技やりたかったな、とっていたけれど今年はそんなことは一切思いません。コロナがあったからこそ、自分たちでできることを考え、結果につなげることができました。それができた時の達成感は、今のじょうきょうだからこそ味わえたものだと思います。なので、今年の運動会は、最後にふさわしいものだったんじゃないかなと思います。」(Y.K)

「最初からもっと高い意識を持って練習に取り組んでいたら本番ではよりレベルの高いものになったと思います。反省しかないです。それでも運動会が終わって後悔なく楽しかったと言えたのはとても良かったです。最高の仲間、先生方にとっても感謝しなければいけないと思いました。」(S.S)

「そして三つ目は、楽しめたことです。今回の運動会で最後なので成功させたいという気持ちが強かったです。結果は二位で、自分の未熟さを感じることも多くありましたが、自分が出せる限りの力で戦えたことがうれしかったです。最後にして過去最高の運動会ができたと思います。(U.K)」



この運動会は私にとって確かな経験値になりました。(T.R)

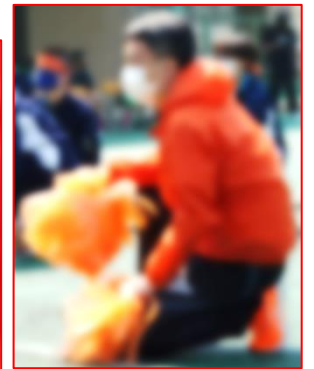


「遂に終わった最後の運動会」

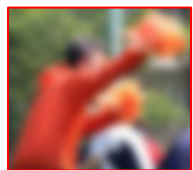
「私は、運動会を通して、思ったことが一つあります。それは、「勝ち負けも大切だけど、クラス全員で一致団結し、協力することのほうが大切」ということです。今回の運動会、優勝できなくてとても悔しかったです。でも、それ以上にこのクラスのメンバーで一致団結して運動会を終えられたことがとてもうれしかったです。この先、何度も「中学校生活最後」と言われていくと思います。そんな時も、このクラス、学年で最高の思い出をつくりたいと思いました。」(I.T)

「二つ目はリレーです。私は走るのが苦手です。足がおそく、とてもリレーに向いてるとはいえません。とうぜん、やりたくないのですがそうはいきません。最初は、「運動会なんてやりたくない、とくにリレーなんてぜったいいいやだ」と思っていました。しかし、この三年間を通して考えが変わりました。仲間とがんばって走る、勝利のためにがんばる、ということとはとても素晴らしいことだと感じました。」(K.H)

「一位を獲得することはできなかったけどリレーの良さ、楽しさに気づけました。だれかが転んだり失敗しても仲間がカバーしてくれるリレーという競技は、私に仲間の大切さをより一層深く教えてくれた気がしました。今後、今回のこのメンバーで運動会をすることはおそらく一生ありません。ですが今後もみんなの頭の中に今回の運動会が一つの思い出として残りつづけます。残りつづけてほしいです。」(N.A)



「三つ目は、高橋先生です。学年で一番と言っても過言ではない程気合が入っていました。クラスの壁紙は日が経つごとに増えていき、運動会が近づくにつれ、心なしか先生の表情が明るくなっている気がしました。本番では六人七脚と一緒に走ってくれたり、声をかけてくれたりしました。たくさん勇気をくれた先生のお陰でみんな頑張ることができました。」(I.T)



「どの競技も一位にはなれなかったですが、みんなのこれまでの練習の成果を十分に発揮できた運動会になったと思います。そして、なにより高橋先生のクラス愛にあふれた応援に感動しました。私にとっては、最高の運動会になりました。」(I.Y)

「私は今回の運動会で、学んだことが一つあります。それは応援することの大切さです。私は今まで、「応援なんて一体何になるんだろう。」と思っていました。ですが今回の運動会を通して応援をすることによって本当に力がわいてくるような感じがしたし、見ていてもとてもおもしろかったです。私も将来悩むことがあったとしても応援で自分を鼓舞して頑張っていきたいです。」(K.Y)

こんなに良いピリは今まで経験したことがありませんでした。(T.K)

「二つ目は応援。運動会は、自分だけががんばるものではなく、生徒、そして先生方もみんなで力を合わせて作り上げるものだと思っているので、応援は、ものすごく大事なことだと思う。当日、たくさんの人を応援した。自分のクラスはもちろん、他クラスや、部活の後輩、話したことのない人も応援した。ここ最近で、一番人のことを応援したと思う。それだけでつかれてしまうほど応援したけれど、すごく楽しかった。」(S.R)

「次に、六人七脚。スタートの位置について周りの組を待つ、同じチームの人がすごいやる気を出していてこっちもやる気が出た。そのおかげか4組の中で1番くらいのスピードが出ていた。やっぱり本番は一味違う感じがして楽しかったし、4組と先生に「感謝」したくなる運動会だった。」(O.Y)

【運動会実行委員】

〇〇〇〇さん・〇〇〇〇さん

〇〇〇〇さん・〇〇〇〇さん

【健康委員(救護)】

〇〇〇〇さん・〇〇〇〇さん

【放送委員(放送)】

〇〇〇〇さん



「私たちはコロナ禍での入学で、行事も例年通りに行うことができていません。ですが、その中でも楽しんで行事を行うことができたのは、この学年の良いところだと思っています。例年通りの行事を行っても最高の思い出ができたと思います。でも、この困難の中で過ごした思い出は一生忘れないと思います。」(T.N)

「中学校生活最後の運動会を終えて、この三年間コロナで違うかたちでは、あったけれどその中でみんなで楽しんだり、一致団結して取り組むことができました。また、一年生の運動会から時がたつのが早くあつという間だなと感じました。これからの行事は、今年で最後になっていくので、一つ一つの行事を大切にし残りの中学校生活を過ごしていきたいです。」(N.S)



今までのタイムを上回るタイムを出せたのは、みんなが協力をして、息を合わせる事ができたからだと思います。(O.Y)



「本気で楽しめたかという問に対する僕の答えは、正直もっと楽しめたというのが本音ですが、後悔はまったくありません。理由としては、後悔してもしようがないということよりも、あの時できなかったこともできたことも、楽しい思い出話として話せば僕はそれで最高の思い出だと思うからです。まじで、楽しかったです。」(H.K)

くやしかった思い出よりも、楽しかった思い出のほうが、あつという的に多く、最後のしめにふさわしい運動会だったと自分の中で思います。(T.K)

